

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームひだまり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：2025年3月28日（金）14時～15時

会場：特別養護老人ホームひまわり園 大会議室

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援 センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他			3人

（議題）

1. ひだまり入居者状況について（3月27日現在）

・入居者数～18名

男性5名・女性13名

※入居 3名（要介護3・女性・87歳）2/3

（要介護3・女性・91歳）2/3

（要介護2・男性・83歳）3/27

※退去 1名（要介護3・女性・91歳）3/8 入院長期化のため

※入院 2名（要介護3・女性・91歳・大腿骨頸部骨折）2/4～

（要介護3・男性・95歳・心不全悪化）3/24～

※外泊 2名（要介護3・女性・76歳）1/8～2/8

（要介護3・女性・87歳）2/14～2/17・2/28～3/3・3/14～17

・平均介護度～2.94

要介護1（2名）要介護2（3名）要介護3（9名）要介護4（2名）要介護5（2名）

・平均年齢～87.16歳（男性87.97歳、女性86.87歳）

・移動手段について

歩行（杖歩行含む）7名

シルバーカー・歩行器5名

車椅子6名（うち介助6名）

※歩行だった方3名が車いす使用に変更。1名はティルト式車いす。

※歩行可能な方のうち、1名は車いす使用が増えている。その他にも見守りや場合によっては手引
きが必要な方が増えている。

※歩行器使用の方のうち、3名は見守りが必要。

・食事の摂取状況

自立12名・見守り0名・要介助6名

※要介助は2名が全介助、4名が一部介助。その他にも、日によって、声掛けや一部介助が必要な
方がある。

・自分の部屋の理解

分かる9名・たまに忘れる1名・分からない0名

※自力移動可能な11名対象とする。

※2月新入居の方は理解されている。3月新入居の方はまだ不明。

2. 活動報告（2月～3月）（スライドを使用して活動の様子を紹介）

●節分（2月3日）

●総合防災訓練【ひだまり】（2月14日）

●口腔ケア研修（2月5日・3月5日）：1名参加

- 認知症研修「認知症になっても最期まで安心して暮らせるまちづくり」(3月4日):1名参加
- 認知症VR体験(3月8日):2名参加
- 映画「オレンジランプ」上映会(3月8日・21日・30日):4名参加
- 排泄ケア研修(3月19日):不参加
- 園内研修(2月12日・20日・3月14日):職員が一日通して、必須の研修を受ける

3. 2024年度実績

- ・2024年度実績(3月末までの見込み)
 - 稼働率:95.6% (予算:95.7%)
 - 空床日数:288日(入院146日、外泊36日、退居106日)
- ・入院主因
 - 心不全(2)、大腿骨転子部骨折、高度脱水、悪性腫瘍(2)、肺炎疑い、大腿骨頸部骨折
- ・退居理由
 - 療養型病院入院、医療院入所、入院(2)、特養入所(2)、在宅復帰、死亡

4. ひだまりの日常の様子 (スライドを使用して報告)

- 家事(洗濯物たたみ、調理、食器拭き、草取りなど)
- レク(散歩、ボール転がし、パズル、風船バレー、体操、塗り絵、読書など)
- 散髪
- 面会
- 誕生日会・誕生日外出
- 入居者同士の関わり

【意見交換より】 ※各報告途中での意見・補足等も含む

(地域住民代表)

介護3の方が多いですが、どのくらいの方が介護3ですか。

(ひまわり園副園長)

介護度は、身体状況と認知症状の状況によって決まります。同じ介護3でも、身体的に介助が必要な方もあれば、体は元気なんだけど認知症の進行があり、多くの介助が必要な方もあります。

(市役所)

長期の外泊の方がおられますが、こういった経緯でしたか。

(ひだまり)

徐々に食事が摂れなくなり、栄養状態が心配だったために内科を受診しました。その際に、精神科へ入院を提案されたのですが、ご家族から、自宅に帰ったら食べられるようになるのではないかと話があり、医師もその可能性はありますとの返事だったため、自宅へ帰られることになりました。最初は1週間程度の予定だったのですが、少しずつ伸びて、最終的には1か月の外泊となりました。

ご主人の介護で、徐々に食事量も増え、今では、食事はほぼ全量摂取です。

(ひまわり園副園長)

認知症の方には、環境が与える影響も大きいので、いったん自宅へということになりました。

(ひだまり)

ご自宅ですと、福祉用具などもそろっていないので、褥瘡ができたり、下肢筋力の低下が見られたりしていましたが、帰園後は適切な用具の使用と処置で、褥瘡も改善しています。座位を保つことも難しかったのですが、今ではティルト式車いす使用ではありますが、時々体を起こされることもあります。

ご主人も頻回に面会に来られ、食事介助をされることも多いです。

他の入居者とのかわりも見られ、精神面も安定してきておられるように感じます。

(ひだまり)

もうお一人外泊を定期的にされる方がありますが、こちらはご家族が休みの土日は一緒に過ごすために帰宅されます。続けてほしいと思っています。

(ひまわり園副園長)

特養では、外出される方はありますが、身体的に負担が大きい方が多いため、外泊される方は少ないです。

(地域住民代表)

以前は避難訓練に地域住民も参加していたのですが、地域住民の役割はどうなりますか。

(ひまわり園副園長)

昼間は主に外に出てこられた人の安全確保です。夜間は、見えづらく迷う可能性もあるので、どこまでしてもらうか検討中です。医療院ができたことで、夜間の職員も増えたこともあって、地域の方とのかわ

り方については検討が必要です。西消防署ができて、通報から 3~5 分程度で到着するので、おそらく避難完了までに消防が来ることになります。

(ひまわり園副園長)

避難訓練と合わせて研修を行いました。毛布でくるんで避難する方法を参加者で実際に行ってみました。それを、ひだまりへ持ち帰ってそこで研修するということができていますので、研修がうまく機能しているようです。

(地域住民代表)

寝ている人を毛布の上に下すのは大変な気がします。

(ひだまり)

ベッドに敷いてあるシーツにそのままくるんで引っ張り下すこともできます。

(利用者家族)

「オレンジランプ」とはどんな内容ですか。

(ひだまり)

若年性アルツハイマー型認知症を発症された方の実話をもとに作られた映画です。いろいろと気づくことも多い内容で、ぜひ見ていただきたいと思います。

(市役所)

出雲市でも上映会を開催したこともあります。出雲市では認知症に対する考え方を変えていこうという方向で動いています。見ていただきたい映画です。

(ひまわり園副園長)

行政では認知症になっても働けるという、就労に対しての支援も行っておられます。

(市役所)

だんだん認知症に対する理解が進んでいて、工夫すればできる仕事があるという理解が得られています。

(利用者家族)

空床とはどういうことですか。

(ひだまり)

退去や入院、外泊などでベッドが空いている状態です。退去はもちろんですが、入院や外泊の場合も、介護費の算定がありませんので、そこを数字で表しています。退居となって空床ができた時には、待ってられる方もおられますので、なるべく早く入居案内したいと思っています。しかし、居室の修繕やクリーニング、また入居が決まった方でも家族さんの都合などで、空床日数が長くなる場合があります。

(ひまわり園副園長)

退居理由の在宅復帰とは看取りの方ですか。

(ひだまり)

ご自宅での看取りを希望された方がおられ、在宅復帰としております。ご自宅に帰られてから 1 週間後になくなりましたが、ご家族の方は家族の中で過ごされたことを喜んでおられました。

(ひまわり園副園長)

施設で看取りをさせてもらう方もあります。ひまわり園は、コロナが明けて、面会制限もなくオープンにしています。先日特養でも、ご家族の方が、「普通に面会させてもらって良かった」「しっかり最期まで寄り添うことができて良かった」という意見をいただいています。

ひだまりでは、月に 70~80 回の面会があります。制限なく面会ができることはご家族にとっても入居者にとっても良いことだと考えます。

(ひまわり園副園長)

日常の様子にありました就寝前の風景で、夜 8 時ころというのがありましたが、施設で夜 8 時ころまであれだけ多くの方が起きておられるのは珍しいと思います。皆さんの生活に合わせて、そうできる環境にあるということは喜ばしいことであります。

(利用者家族)

個人的なことかもしれませんが、私の母は入居して 2 年半でずいぶん様子が変わりました。在宅でデイサービスに通っているときには、毎月ケアマネさんが来られてデイサービスのことなど話を聞いていましたが、今は分からないことが多いです。月に 2 回面会に行きますが、その時に少し様子を聞くくらいで、この先のこととか不安になることがあります。定期的に相談できる場を設けてほしいです。

(ひだまり)

不安なお気持ちも理解できます。相談できる場を設けるよう検討していきます。

(有識者)

私の施設では、本人の状況を知ってもらうために、写真を見て近況を知っていただくことを目的に、年 1 回冊子を作製し、お伝えしています。最近ではガンの手術を受けられる方が多く、通院の時は家族に同行してもらうようにしています。家族の方の心配を取り除くことが、私たちの仕事と考えています。

次回案内

日時…2025 年 5 月 30 日（金）14：00～15：00

場所…特別養護老人ホームひまわり園